

実現します

2020年度中

精神障害者への医療費助成

ひとり親家庭「窓口無料化」にむけ協議

ねばり強い県民運動と日本共産党のとりくみが実を結びました

精神

千葉県は、開会中の12月定例千葉県議会で、重度心身障害者（児）医療費助成対象に「精神」を加えることを明らかにしました。

現在は、身体障害と知的障害は助成されますが、精神障害は除外されています。精神障害者の方たちからは「定期的に通院しなきゃいけないし、いくつもの薬も必要。支払いが大変」「身体と知的だけで、どうして精神はだめなの」など声がおこり、県に助成を求めています。

日本共産党も関係者と懇談し、議会でくりかえし精神障害者も助成対象とするよう迫ってきました。2018年6月県議会でも「請願」が全会一致で採択されました。

助成の内容と実施時期など
等級：精神障害者手帳1級所持者
(現行の身体・知的と同程度の等級)
医療の範囲：診療科を問わず入院・通院ともに対象
自己負担：通院1回入院一日につき300円
実施時期：2020年度中
実施主体は市町村(千葉市除く)。
29都道府県で実施。

ひとり親

千葉県は、ひとり親家庭についても、2020年度中の現物給付化にむけて、市町村や医師会などの関係機関と協議をすすめていくとしています。

現在は、医療機関の窓口でいったん立替えて、後から領収書をつけて市役所などに申請して返金してもらう「償還払い」です。現物給付になれば、窓口で立替える必要がなくなります。

日本共産党は、重い病気を患ったシングルマザーから寄せられた悲痛な声や、現物給付にしている他県のとりくみを示して、現物給付化を求めてきました。

2020年度
千葉県予算編成

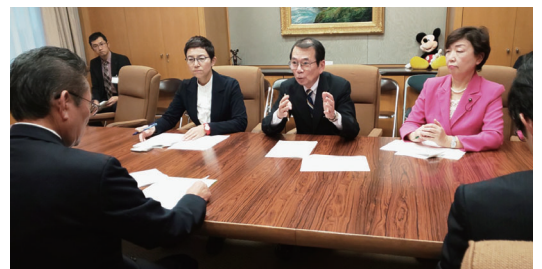
知事あてに、平和と暮らし、復旧・復興の重点要望書(226項目)を提出しました

日本共産党千葉県議団と同千葉県委員会は12月2日、県庁で2020年度千葉県予算編成にあたっての重点要望書を森田健作知事あてに提出しました。

安倍政権による9条改憲の企てや消費税10%引き上げ強行、年金、医療、介護の負担増と給付削減など社会保障切り捨てから平和と県民の命と暮らしを守る226項目を要望しました。

とくに台風の甚大な被害から被災者が日常の生活と生業を一日も早く取りもどすために、不要不急の大規模開発をやめて、復旧・復興と防災の街づくりを重視しています。

浅野ふみ子党県副委員長は、12月1日に木更津市内で2000人が参加して開かれた「オスプレイ暫定配備反対県民大集会」の様子を伝え「この声に応じて県も反対を表明」するよう求めました。みわ由美県議は、虐待防止にむけ、児童相談所の増設、一時保護所の改善、DV対策強化など要求。加藤英雄県議団長は、台風15号直後の南房総市の自主防災組織のとりくみを紹介し、自助・共助を支える公助の責務を強調しました。応対した高橋渉副知事は「災害当初は油断があったが、やれるものはしっかりやっていく」と述べました。



森田知事 厳しい批判をうけて
初動時の対応を謝罪し減給を表明
(12月3日)